

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 8 日

事業名称		さくらがおか児童館運営費 [さくらがおか児童館運営事業]								
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 6	児童館費	事業番号	6		
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)									
担当部署・課長名	青少年		課		青少年育成		係	課長名	石川博隆	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 4		
【施策名】 児童福祉の推進							総合計画書 (ページ)	59		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	児童館周辺に在住の0～18歳未満の乳幼児・児童数とその保護者				→ 市内の0～18歳未満の乳幼児・児童数 (令和3年3月1日現在)					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	①児童館を利用する児童が、遊びや行事を通じて成長できるようにする。 ②乳幼児が安心して遊べる場所の提供、保護者同士の交流・情報交換ができるようにする。				→ ①児童の来館者数(延べ人数) ②乳幼児及びその保護者の来館者数(延べ人数) (1)乳幼児 (2)保護者					
2 指標の推移					過去2年間の実績		当該年度		成果目標	
			単位	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	人	13,533	13,328	13,178				
	成果指標	②の数値	人	①21,646 ②(1)4,424 (2)3,901	①18,715 ②(1)3,362 (2)2,886	①6,016 ②(1)1,618 (2)1,650				
3 経費	目標		②の目標値	目標値設定の考え方 令和2年度は、国の緊急事態宣言発令にあわせ臨時休館、人数・時間制限等を行ったため、目標値設定不能。						
	活動指標	③の数値	回	①(1)44 (2)193 ②(1)22 (2)18/24	①(1)24 (2)289 ②(1)16 (2)18/22	①(1)20 (2)292 ②(1)10 (2)6/6				
	事業費(実績)		円	10,095,559	10,101,030	11,090,911	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	10,095,559	8,064,540	8,145,691				
特定財源(国・都・他)		円	1,240,880	2,036,490	2,945,220					
(うち受益者負担)		円	25,880	21,490	0					
人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0					
	所要人数(再任用)	人								
	職員人件費(再任用以外)	円	8,244,000	8,310,000	8,380,000					
事業費+人件費		円	18,339,559	18,411,030	19,470,911					
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和51 年度									
	(2) 環境の変化 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により4月から6月まで臨時休館、7月からは一定の条件を設けた開館としたため、一般来館利用が大幅に減少した。また、児童館内の清掃・消毒、手洗いの励行、手指の消毒、換気等を徹底し、衛生管理に努めた。 ・子育て支援の必要性が高まり、乳幼児とその保護者を対象にした事業や子育てひろばの充実に取り組んでいる。									

事業名称	さくらがおか児童館運営費 [さくらがおか児童館運営事業]			
担当部署・課長名	青少年	課	青少年育成	係 課長名 石川 博隆

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・様々な月齢の子どもが遊べる乳幼児行事に参加して、親同士の交流を持つことができたので機会を増やしてほしい。 ・キッズルームで親子して楽しい時間を過ごすことができ、毎日の子育てに疲れても安心できる場所となっている。子どもも家にいる時とは違った一面を発見することができて嬉しい。 ・体を動かす遊びやイベントがあると嬉しい。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：③児童館行事での事業協力		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 なし			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） ・子育てひろば、子育て支援事業の充実のため、引き続き利用しやすいよう環境を整える。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 ・子育て支援職員研修等を積極的に受講し、職員間での研鑽及び情報共有をしながら子育てひろばや児童館運営の充実を図った。 ・乳幼児事業参加者にアンケートの実施や来館者に積極的に声掛けするなど、乳幼児を持つ親が児童館を身近に感じられるよう、利用しやすい環境を整えた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ・より充実した子育てひろば及び乳幼児事業の拡大を図る。また、引き続き利用しやすいよう環境を整える。 ・新たな生活様式を取り入れた児童館運営と環境整備を図る。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☒ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・ランドセル来館児童の利用割合が増加により、児童館を利用する子どもの置かれている状況が変化している。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、環境整備や衛生管理の継続が必要なため、新たな生活様式を取り入れた事業内容に改善する必要がある。 ・子育て支援事業の充実を図るため、研修等の積極的な受講と利用者のニーズを聴取し、利用しやすい児童館を目指す			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・児童館行事について、内容等を精査し、新たな生活様式を取り入れた事業展開を図る。 ・子育てひろばの拡充と子育て支援事業の充実のため、利用者のニーズを聴取しながら利用しやすい児童館を目指す。			